



堀岡 敏喜 議員  
公明党

# 問 GIGAスクール構想、整備急げ

## 答 本年度中に整備完了

※情報を自己の目的に適合するように使用できる能力。

**問** GIGAスクール構想の事業概要と市の整備状況および、今後の整備計画は。

**答** [教育部長] 校内LAN整備は着手。タブレット、大型電子黒板、書画カメラ等の整備を年度内に完了。

**問** 教師がICTを効果的に活用し、指導力を高めていくための取り組みは。

**答** 教師力向上研修を行っている。ICTについても講師が各学校や教員に助言していく。

**問** 情報リテラシー教育の充実や、有害情報対策などへの取り組みは。

**答** 学校だけで対応しても限界があり、家庭との連携も必要。



**問** 学習用デジタル教科書の教育的効果は。

**答** 一人一人の興味関心に応じて課題の追及がしやすくなる。

**問** ICT支援員の配置は。

**答** 学校と調整していく。

**問** コロナ禍、学級閉鎖や休校となる場合の基準は。

**答** 学校医や保健所と相談し状況に応じて判断。

**問** 学習の継続計画は。

**答** 課題を出したり、分散登校などで対応。

**問** 広島研修に代わる平和学習の計画は。

**答** 代替案は各校で検討中。

**問** 人との接触が制限される中、感染予防意識の共有は当然として、自粛から「こすれば出来る」への転換が必要と考えるが市の見解は。

**答** [市民生活部長] “動く”ということも重要。前向きな考えへの転換が必要。

**問** 住民同士をつなぐ自治会活動の停滞は、支援を必要とする住民の孤立や、地域の防災力低下につながりかねない。収束後も見据えた自治会のあり方は。

**問** 市民協働、コロナ禍でできること

**答** 前向きな考えの転換が必要

**答** 中心的な役割を担う高齢者や長年活動する会員の知識や経験と、若い世代の発想を融合することが重要。

**問** 自治会活動の支援のためにオンライン出前講座や、先進事例の紹介、市民と情報共有できる窓口の設置など、コロナ禍でも出来る協働事業は。

**答** 他の自治会等での取り組みや活動状況を、市ホームページやチラシなど作成し紹介していきたい。

